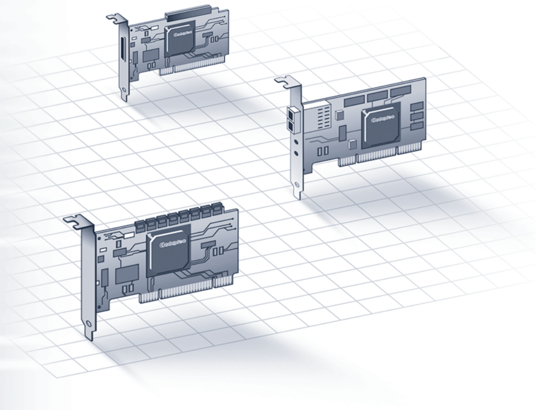
Adaptec SCSI 29320LPE QSG.fm 0 ページ ２００６年１２月１８日 月曜日 午後２時１２分

adaptec®

Adaptec SCSI Card 29320LPE
クイック スタート ガイド



はじめに

Adaptec SCSI 29320LPE は、15 台までの SCSI デバイス — 例えばハイパフォーマンス HDD の大規模アレイや、外部ストーレージサブシステム、Ultra320、Ultra160 ディスクドライブ、CD ドライブ — を PCIe (PCI Express) 拡張スロットを持つコンピュータに接続することができます。

Adaptec SCSI 29320LPE は、スループットが最大 320 MB/sec のシングル チャネル SCSI カードです。Ultra320/160 および Ultra2 SCSI デバイスを、68 ピン内部 LVD（Low Voltage Differential）コネクタと 68 ピン外部 VHDCI（very high-density cable interconnect）コネクタに接続できます。

メモ : 最適な I/O パフォーマンスを得るために、LVD（Low Voltage Differential）デバイスと非 LVD/SE デバイスを別々に接続することをお勧めします。（LVD デバイスは、Ultra320、Ultra160、および Ultra2 SCSI デバイスを指し、非 LVD デバイスは Fast SCSI デバイスまたは Ultra SCSI デバイスを指します。）

本書 に記載の製品の最新情報や、サポートする オペレーティングシステムおよび ドライバのダウンロードには、www.adaptec.co.jp を参照してください。

キットの内容

- ✔ Adaptec SCSI 29320LPE カード (フルハイトブラケットが付属)
- ✔ SCSI*Select* ユーティリティが SCSI カード BIOS に内蔵 —SCSI カードや、ディスクドライブ設定を確認したり変更するのに使用。
- ✔ インストール CD
- ✔ Adaptec SCSI 29320LPE カード用ドライバ
- ✔ Adaptec SCSI 29320LPE カードの製品説明書
- ✔ Readme ファイル
- ✔ SCSI ケーブル :
    - ターミネータ付き6ポジション 68ピン高密度 LVD ケーブル
- ✔ ロープロファイル ブラケット

✔ Adaptec SCSI 29320LPE カードクイック スタート ガイド(印刷物
)

Step 1　SCSI カードの取付け

ご注意 : 静電気放電（ESD）によって SCSI カードが損傷する可能性があります。静電気による損傷を防ぐため、SCSI カードは慎重に扱ってください。

a ロープロファイルのコンピュータ ケースを使用している場合は、元のフルハイト ブラケットをキットに同梱されているロープロファイル ブラケットと交換します。

b コンピュータの電源を切り、電源コードを抜きます。

c コンピュータのカバーを取り外します。

d SCSI カードを使用可能な PCIe スロットに挿入し、*SCSI* **カード**ブラケットを本体に固定します。(拡張スロットは、PCIe リビジョン 1.0 互換である必要があります。)

e 内部ドライブを適切なケーブルを使用して接続し、コンピュータ カバーを閉めます。

メモ : 非 LVD/SE(Wide Ultra/Ultra)SCSI デバイスを LVD(Ultra320、Ultra160、Ultra2) SCSI デバイスと同じ SCSI チャネルに接続すると、LVD SCSI デバイスのデータ転送速度は、非 LVD SCSI デバイスのパフォーマンスレベルになります。LVD SCSI デバイスのデータ転送速度を最大にするために、それぞれを別にしてください。

Step 2　SCSI デバイスのセット アップ

Adaptec SCSI 29320LPE に接続する前に、SCSI デバイスに対して次のような作業が必要になる場合があります。

- SCSI ID の確認
- ターミネーションの確認
- SSCSI デバイスの接続
- SCSI カードドライバのインストール

セットアップの内容はデバイスごとに異なるため、必ずそのデバイスの取り扱い説明書で具体的な手順を確認してください。

Step 3　SCSI ID の確認

以下に、お使いの SCSI デバイスに SCSI ID とターミネーションを設定するガイドラインを、いくつか説明します。

Adaptec SCSI 29320LPE に接続する各デバイスには、チャネルごとに 0 から 15 までの固有の SCSI ID を割り当てる必要があります。同じ SCSI チャネル上では、複数のデバイスに同じ SCSI ID を割り当てることはできません。

Adaptec SCSI 29320LPE は、各チャネルの SCSI ID をあらかじめ 7 に設定しています。この設定の変更はしないでください。SCSI ディスク ドライブからコンピュータを起動する場合は、ディスクドライブの SCSI ID が 0 に設定されていることを確認してください（ほとんどの SCSI ディスク ドライブは工場出荷時に、SCSI ID が 0 に事前設定されています）。内部デバイスの SCSI ID は、一般にジャンパによって設定されています。また外部デバイスの SCSI ID の場合は、デバイスの背面のスイッチで ID を設定します。

Step 4　終端のターミネート

SCSI バス上で安定したデータ転送が行われるためには、各ケーブルの終端のデバイス、またはケーブル自体の終端にターミネータを取り付ける（有効にする）必要があります。SCSI ケーブルの終端間に接続する SCSI デバイスでは、ターミネータを取り外すか、ターミネーションを無効にする必要があります。

LVD(Ultra320、Ultra160、Ultra2) SCSI デバイスを接続するときには、（固定ターミネータのある）ケーブルの終端または別のターミネーション コネクタを使って、SCSI バスをターミネートさせる必要があります。Ultra SCSI デバイスとそれ以前のシングルエンドデバイスでは、直接デバイスからターミネートさせることができます。LVD バスで Ultra SCSI ターミネータを使用すると、SCSI デバイスは正常に動作しません。このため、LVD SCSI デバイスを接続する前に、必要な LVD ケーブルとターミネータがあるかを確認します。

各 SCSI バス ケーブルの終端にある SCSI デバイスをターミネートさせる必要があります。また、ケーブル間にあるそれ以外のデバイス全てのターミネーションを無効にしなければなりません。LVD SCSI デバイスは自動的にはターミネートされていませんが、非 LVD/SE SCSI デバイスはターミネートされているか確認が必要です。詳細については、各 SCSI デバイスの取扱説明書を参照してください。

外部 LVD(Ultra320、Ultra160、Ultra2) SCSI デバイスを使用している場合、チェーンの最後のデバイスをターミネートする LVD ターミネータがあるか確認します。シングルエンド用のターミネータ（これを Ultra ターミネータと言うことがあります）を使用すると、SCSI デバイスは正常に動作しません。

Step 5　SCSI デバイスの接続

Adaptec SCSI 29320LPE は、SCSI デバイスを合計 15 台まで接続できます。これらのデバイスを接続する前に、必ず 2 ページの *SCSI* **デバイスのセット アップ** を参照ください。

内部 LVD(Ultra320/Ultra160/Ultra2)SCSI デバイスの接続

内部の LVD デバイスを接続する、専用の 68 ピン内部 LVD ケーブルが必要です。ケーブルに明記されていない場合でも、ほとんどの LVD ケーブルは、両端にコネクタがついたツイストペアのフラット リボン ケーブルになっていますので、識別が可能です。LVD ケーブル以外でもシールドされたフラットケーブルがありますが、内部 LVD ケーブルの場合、ケーブルの端にターミネータが組み込まれています。詳細については、*Adaptec SCSI 29320LPE* **インストール及びユーザーズ ガイド** を参照します。

Adaptec SCSI 29320LPE には、内部 SCSI デバイスに接続できる内部 LVD コネクタが 1 つあります。

LVD(Ultra320、Ultra160、Ultra2) デバイスは、Ultra SCSI デバイスとは別の SCSI チャネルに接続しておくことをお勧めします。従来の SCSI ディスク ドライブを Adaptec SCSI 29320LPE コネクタに接続すると、Ultra320、Ultra160、Ultra2 デバイスは、Ultra SCSI のパフォーマンスレベルまで遅くなります。

お使いの内部 LVD(Ultra320、Ultra160、Ultra2) SCSI デバイスを接続する方法は、以下の手順に従います。

a 68 ピン内部 LVD SCSI ケーブルを用意します。

b ケーブルのターミネートされていない方の端を、内部接続用 LVD コネクタに接続します。

c 内部 LVD SCSI デバイスを他方のケーブルコネクタに接続します。その際、ケーブルのターミネータがついている方の端にあるコネクタから接続していきます。

メモ : 内部 LVD SCSI デバイスは、工場出荷時の状態ではターミネートされておらず、この設定を変更することはできません。LVD SCSI ケーブルの端についているターミネータを使用することで、ターミネーションが有効になります。

d コンピュータの内部電源につながっている電源ケーブルを、各内部 SCSI デバイスに接続します。

外部 SCSI デバイスの接続

外部 LVD SCSI デバイスを 68 ピン外部 VHDCI SCSI コネクタに接続します。外部デバイスごとに、68 ピン外部 VHDCI LVD SCSI ケーブルを用意する必要があります。

メモ : 最大のデータ転送速度を確保するために、古い非 LVD/SE デバイスを新しい Ultra320、Ultra160、Ultra2 SCSI デバイスを Adaptec SCSI 29320LPE の同じ SCSI チャネルに接続しないでください。

a 外部 LVD ケーブルの一端を Adaptec SCSI 29320LPE の外部 VHDCI コネクタに接続します。

b SCSI ケーブルのもう一方の端を、外部デバイスの背面の SCSI コネクタに接続します。外部 SCSI デバイスを 1 台だけ接続する場合は、そのデバイスをターミネートさせ、手順 4 へ進みます。

c 前述のように、各デバイスを順番につないで、その他の外部 SCSI デバイスを接続します。チェーンの終端にあるデバイスをターミネートさせます。

d すべての外部デバイスとコンピュータに、電源ケーブルを接続します。

Step 6　ドライバ ディスクの作成

オペレーティングシステムにドライバをインストールする前に、ドライバディスクを作成します。ドライバのディスクを作成するには、以下の手順に従います。

a Windows の場合、Adaptec SCSI CD を挿入します。メイン メニューが開きます。

b MainMenu から、**Create Driver Disk** をクリックします。

c リストからオペレーティングシステムを 1 つ選択します。

- Windows
- Linux

- Netware

d 使用するオペレーティングシステムを選択します。

e オペレーティングシステムのバージョンを選択します。

f フロッピー ディスクを挿入し、**OK** をクリックします。

g ドライバ ディスクが作成されます。

h ドライバ ディスクを取り出し、ラベルを貼ります。

i 6 ページのステップ 7 で説明するように、オペレーティングシステムと *SCSI* **カード** ドライバのインストールへ進みます。

メモ : お使いのコンピュータにオペレーティングシステムが既にインストールされている場合、インストール CD 上の *Adaptec SCSI 29320LPE* **インストール及びユーザーズ ガイド**を参照します。

Step 7 SCSI カードドライバのインストール

Windows

a Windows CD を挿入し、コンピュータを再起動します。

b 画面上の指示に従って Windows のインストールを開始します。

c サードパーティ製のドライバのインストールを求められたら、**F6** キーを押します。

> **メモ :** F6 キーの機能がアクティブな間は、5 秒間だけ画面下部にプロンプトが表示されます。F6 キーを押せなかった場合は、コンピュータを再起動してください。

d ドライバ ディスケットを挿入し、ドライバのインストールを求めるメッセージが表示されるまで待ちます。ドライバがフロッピー ディスクにあることを指定するために **S** キーを押して、**Enter** を押します。コンピュータがディスクを読み取ります。

e ドライバが検出されたら、**Enter** を押します。画面上の指示に従ってインストールを行います。

Red Hat Linux

SuSE Linux については、RAID インストール CD に収録の *Adaptec SCSI 29320LPE* **インストール及びユーザーズ ガイド**を参照してください。

メモ : Linux のサポートに関する最新情報については、http://www.adaptec.com または http://www.adaptec.co.jp を参照してください。

a 最初の Red Hat インストール CD を挿入します。

b コンピュータを再起動します。

c Red Hat の Welcome 画面が表示されたら、Boot: プロンプトで `linux dd` と入力します。

d 要求に従って、ドライバ ディスクを挿入し、**OK** を選択します。

e 画面の指示に従って、希望の環境をセットアップします。

f サードパーティのデバイスをインストールする際は、ここでインストールします。取り付けない場合は、**Done** を選択します。

g Red Hat の指示に従って Linux インストールを続けます。

NetWare

a コンピュータを再起動し、NetWare をインストールします。（詳細は、NetWare の説明書を参照してください。）

b 後で追加のドライバをロードすることができるようにするために、インストール作業の最初の部分で、**Manual Install Mode** を選択します。

c Device Drivers 画面が表示されたら、Storage adapters リストにチェック マークを付けて、**Modify** を選択して別のドライバを追加します。

d **Storage Adapter** を選択し、**Enter** キーを押します。

e 必要に応じ、**Delete** を押して、初期値の SCSI ドライバを削除します。

f **Insert** を押して、別のドライバを追加します。

使用可能なドライバが表示されます。

g ドライバ フロッピー ディスクを挿入します。

h **Insert** を押して、それから **Enter** をおし、フロッピーディスクをスキャンします。

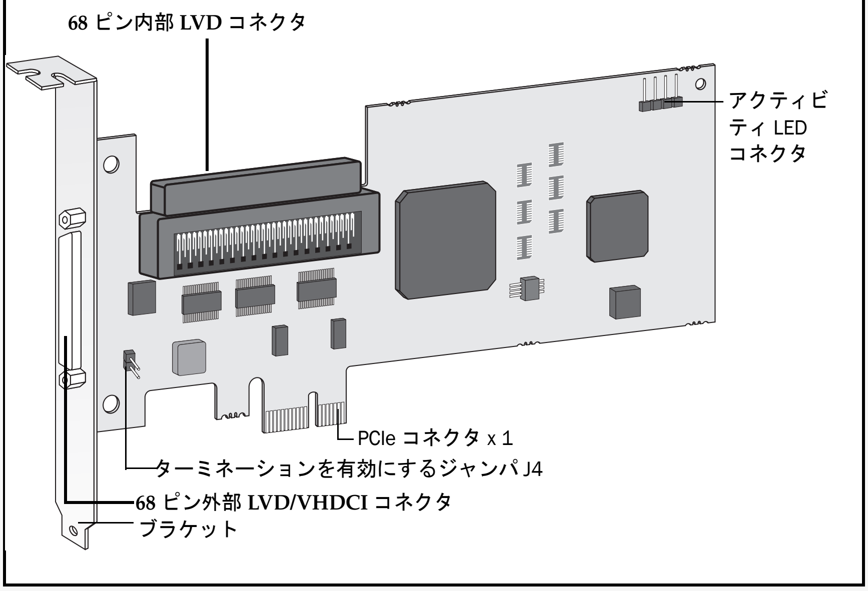
ドライバが選択されると、新しいデバイスドライバが表示されます。

i **Return to Driver Summary** を選択し、**Enter** キーを押します。

j 下のウィンドウ メニューから、**Continue** を選択し、**Enter** を押します。

k NetWare のマニュアルの指示に従ってインストールを完了します。

Adaptec SCSI 29320LPE



Adaptec, Inc.
691 South Milpitas Boulevard
Milpitas, CA 95035, USA

© 2006 Adaptec, Inc.
All rights reserved. Adaptec とアダプテックのロゴは Adapctec Inc の商標登録であり何らかの司法権に登録されている可能性があります。

Part Number: MAN-00204-01JA-A Rev. A
EU 12/06